

# 花とみどりのまちづくり構想 (第4期)

～朝霞市みどりの基本計画重点アクションプラン～

---

平成30年度事業進捗状況報告書

朝霞市

## 1. 総論

「朝霞市みどりの基本計画」（以下「本計画」という。）を平成28年3月に改訂する際、みどりの将来像を実現するために、既存の取組だけではなく、新しい取組も取り入れながら、「緑と水辺を守る」、「花や緑を育ててつなぐ」、「公園の魅力を高める」という3つの「みどりの目標」を設定しました。

「花とみどりのまちづくり構想（第4期）」は、本計画の実効性ある推進、具体的な方向性を提示するための実施計画として、平成28年度から平成30年度までの取組をまとめました。

## 2. 重点的取組

### （1）重点的取組 一覧表

番号	重点的取組	ページ
1	基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画の見直し	2
2	健康器具系施設の計画的配置	3
3	根岸台5丁目1号及び2号公園の利用ルールづくり	4
4	公園施設長寿命化計画に基づく施設の補修・更新	5
5	防犯に配慮した公園づくり	6
6	街路樹育成方針の策定	7
7	落ち葉の利活用の検討	8
8	朝霞市みどりのまちづくり基金による緑化支援	9
9	自然との共生に向けた理解の醸成	10
10	朝霞生き物マップ・朝霞生き物台帳の更新	11
11	緑被率経年変化調査の実施と結果の公表	12

## (2) 重点的取組

重点的取組	基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画の見直し	
実施する事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャンプ朝霞跡地の緑の効果的な活用</li> <li>○キャンプ跡地の公園整備の推進</li> <li>○市民参加による公園づくりの推進</li> </ul>	
担当課	みどり公園課	
めざす目的・成果	基地跡地に残された現状の自然環境を生かし、隣接する朝霞中央公園、青葉台公園と連携した「水と緑の拠点」や、イベント会場など「にぎわいづくりの拠点」として、市民に愛される公園を整備する。	
事業内容	「朝霞市基地跡地利用計画」の見直しを受け、「朝霞市基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画」の見直しを行い、公園・シンボルロードの整備内容を検討する。	
<b>各年度の目標・計画</b>		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
・シンボルロード部分の計画について見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園部分の計画について見直し</li> <li>・パブリックコメントの実施</li> </ul>	—
<b>各年度の実績</b>		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年8月9日、元公務員宿舍建設予定地(3.0ha)の管理委託契約を国と締結し、市が広場として管理した。</li> <li>・平成24年11月4日に暫定利用広場「朝霞の森」をオープンし、平成28年度末まで、利用者が23万人を超えた。また、プレーパークを60回開催した。</li> <li>・パブリックコメントの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年6月30日、シンボルロード整備基本計画を策定した。</li> <li>・朝霞市基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画見直し検討委員会を5回開催した。</li> <li>・パブリックコメントの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年4月24日、基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画〔改訂版〕を策定した。</li> </ul>

重点的取組	健康器具系施設の計画的配置	
実施する事業	○健康器具系施設の計画的配置と活用	
担当課	みどり公園課	
めざす目的・成果	高齢者をはじめとする市民の健康維持のため、公園等に健康器具系施設を計画的に配置し、健康づくりの拠点として活用する。	
事業内容	市内の散策路や散歩コース等を考慮しながら、計画的に健康器具系施設を公園等に配置する。	
各年度の目標・計画		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康器具系施設の配置について検討</li> <li>・検討結果に基づき、健康器具系施設の設置を進める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康器具系施設の配置について検討</li> <li>・検討結果に基づき、健康器具系施設の設置を進める</li> </ul>
各年度の実績		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康器具系施設を城山公園に10基、三原公園に1基設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度に泉水公園に健康器具系施設を設置することを検討</li> </ul>

重点的取組	根岸台5丁目1号及び2号公園の利用ルールづくり	
実施する事業	○公園の特色づくりの推進 ○公園の利用ルールづくりと改修 ○市民参加による公園づくりの推進	
担当課	みどり公園課	
めざす目的・成果	地域住民と協働で公園の利用方法やルールを考え、地域のニーズに合った利用しやすい公園を増やす。	
事業内容	根岸台5丁目土地区画整理事業によって整備された公園について、地域住民と協働で利用ルールを検討し、策定する。	
各年度の目標・計画		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
—	・公園周辺に立地する小中学生に対するアンケート	・地域住民と協働による利用ルールの検討
各年度の実績		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
・土地区画整理事業の進捗に伴い、土地区画整理組合管理地の1号公園が暫定解放された。(4/5)	・土地区画整理事業の進捗の関係で、市の都市公園としての供用開始予定が未定であるため、アンケートは未実施。	・土地区画整理事業の換地処分を公告。1号公園及び2号公園が市に帰属(3/29) ※2号公園内の組合事務所は清算金の授受が完了するまで残置 ・地域住民と協働による利用ルールの検討の準備

重点的取組	公園施設長寿命化計画に基づく施設の補修・更新	
実施する事業	○公園施設長寿命化計画に基づく施設の補修・更新	
担当課	みどり公園課	
めざす目的・成果	施設の計画的な補修・更新を進め、できるだけ長く利用者が安全・安心に公園施設を利用できるようにする。	
事業内容	「公園施設長寿命化計画」に基づき、施設の計画的な補修・更新を進める。	
各年度の目標・計画		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
・「公園施設長寿命化計画」に基づく、施設の計画的な補修、更新	・「公園施設長寿命化計画」に基づく、施設の計画的な補修、更新	・「公園施設長寿命化計画」に基づく、施設の計画的な補修、更新
各年度の実績		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園遊具等保守点検（年4回実施）の結果に基づき、遊具等の改修実施</li> <li>・都市公園施設長寿命化対策工事（15公園31基） 工事金額30,729千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園施設長寿命化対策工事（中央公園公園灯改修工事、中央公園舗装改修工事、中央公園木製遊具設置工事） 工事金額30,069千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園施設長寿命化対策工事（青葉台公園親水施設改修工事、青葉台公園ネット遊具改修工事） 工事金額36,500千円</li> </ul>

重点的取組	防犯に配慮した公園づくり	
実施する事業	○見通しのよい公園づくりの推進	
担当課	みどり公園課	
めざす目的・成果	見通しや景観を悪化させている植栽の改善、死角の解消、夜間の明るさ確保等によって、安全性の確保や景観の向上を図り、公園を多世代が安全に、安心して利用できる空間とする。	
事業内容	見通しの悪い公園や死角のある公園について、改善方法を検討し、実施する。	
<b>各年度の目標・計画</b>		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善すべき公園を検討</li> <li>・改善方法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の検討結果に基づき、改善</li> <li>・改善すべき公園の検討</li> <li>・改善方法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の検討結果に基づき、改善</li> <li>・改善すべき公園の検討</li> <li>・改善方法の検討</li> </ul>
<b>各年度の実績</b>		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園、児童遊園地の植栽及び樹木の管理</li> <li>・園内の見通しも考慮し除草や越境した樹木の枝剪定を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園、児童遊園地の植栽及び樹木の管理</li> <li>・園内の見通しも考慮し除草や越境した樹木の枝剪定を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園及び児童遊園地において、園内の見通しや安全性を考慮した剪定・伐採・除草等の植栽管理や、照明の修繕等を実施 工事金額88,515千円</li> </ul>

重点的取組	街路樹育成方針の策定	
実施する事業	○街路樹育成方針の策定	
担当課	みどり公園課、道路整備課	
めざす目的・成果	車両等の通行の安全に配慮しつつ、街路樹の連続性を生かしたエコロジカルネットワークの形成、みどり豊かな景観や魅力あるまちなみの形成に向け、健全で美しい街路樹を育てる。	
事業内容	樹種や道路の幅員構成、周辺環境などの状況を踏まえ、街路樹を適正に管理するための街路樹育成方針を必要な路線ごとに検討、策定する。	
各年度の目標・計画		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
<ul style="list-style-type: none"> <li>市道2号線(城山通り)の街路樹育成方針について内容を検討</li> <li>試験的剪定の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道2号線(城山通り)の街路樹育成方針について内容を検討</li> <li>パブリックコメントの実施</li> <li>市道2号線(城山通り)の街路樹育成方針を策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>街路樹育成方針を策定すべき路線について検討</li> </ul>
各年度の実績		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
<ul style="list-style-type: none"> <li>市道2号線(城山通り)の街路樹育成方針について内容を検討</li> <li>市道8号線剪定時に試験的剪定を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道2号線(城山通り)の街路樹育成方針について内容を検討</li> <li>試験的剪定後の育成状況について経過観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道2号線(城山通り)の街路樹(約440本)剪定を実施</li> <li>街路樹育成方針についての検討の準備</li> </ul>

重点的取組	落ち葉の利活用の検討	
実施する事業	○（仮称）あさか落ち葉あつめ隊	
担当課	みどり公園課	
めざす目的・成果	市民みんなで楽しみながら落ち葉を集め、「落ち葉は朝霞のみどりの素」という意識を広げ、市民一人ひとりの小さな行動によってみどりを守り育てる文化を醸成していく。	
事業内容	市民と協働で落ち葉を集め、落ち葉を利用したイベントを通し、みどりを守り育てる文化を醸成する。また、腐葉土づくり等の落ち葉の利活用の方法を検討する。	
各年度の目標・計画		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
・落ち葉プールの実施	・落ち葉を利用したイベントの実施 ・落ち葉の利活用方法について検討	・落ち葉を利用したイベントを実施する団体を募集 ・イベント後の落ち葉を有効活用
各年度の実績		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
・落ち葉プールの実施	・市制施行50周年記念「落ち葉で遊ぼう in 朝霞の森」の実施	・「朝霞の森秋まつり」において市民団体が落ち葉プールを実施（11/10）

重点的取組	朝霞市みどりのまちづくり基金による緑化支援	
実施する事業	○景観計画に基づく緑化 ○みどりのまちづくり基金の充実と適正な運用	
担当課	みどり公園課、まちづくり推進課	
めざす目的・成果	市民等による良好な景観形成又は生物多様性の保全に資する緑化事業について、基金による支援を行うことによって、市民・事業者と協働でみどりを守り育てる。	
事業内容	朝霞市みどりのまちづくり基金を活用した補助制度を検討及び実施する。	
各年度の目標・計画		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
・基金による補助制度の検討	・補助制度の周知 ・助成	・補助制度の周知 ・助成
各年度の実績		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
・景観意見交換会の開催 ・景観審議会の開催 ・景観づくりの支援基準の検討 ・ホームページ掲載	・景観審議会の開催 ・景観形成補助金制度の検討 ・ホームページ掲載	・景観審議会の開催 ・景観づくり団体の認定 (11団体) ・景観形成補助金制度の開始及び補助金の交付 (2団体、各10万円) ・ホームページ掲載

重点的取組	自然との共生に向けた理解の醸成	
実施する事業	○生物多様性市民懇談会の開催	
担当課	みどり公園課	
めざす目的・成果	自然との共生に向けて、ムクドリが市街地を利用する背景や生態、対応方法等について、市民・事業者の理解を醸成する。	
事業内容	ムクドリの生態や現状について意見交換を行い、共生に向けた取組を検討する。	
各年度の目標・計画		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性市民懇談会で意見交換</li> <li>・朝霞駅・北朝霞駅周辺のムクドリの実態調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性市民懇談会で意見交換</li> <li>・共生に向けた取組について検討</li> </ul>
各年度の実績		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりの基本計画に伴い、市内市民団体の参加による生物多様性市民懇談会を開催（5/16、12/22）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞駅・北朝霞駅周辺のムクドリの実態調査</li> <li>・市内市民団体の参加による生物多様性市民懇談会を開催（2/14）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内市民団体の参加による生物多様性市民懇談会を開催（2/14）</li> <li>・共生に向けた取組についての検討の準備</li> </ul>

重点的取組	朝霞生き物マップ・朝霞生き物台帳の更新	
実施する事業	○朝霞生き物マップ・朝霞生き物台帳の作成 ○生物多様性市民懇談会の開催 ○朝霞生き物調査の実施	
担当課	みどり公園課	
めざす目的・成果	朝霞生き物マップ・朝霞生き物台帳を生物多様性の啓発や環境学習等に活用する。	
事業内容	市民団体が行う調査や観察会で得られた動植物の確認記録や市民参加型の生き物調査の結果をもとに朝霞生き物マップ・朝霞生き物台帳を更新し、朝霞生き物マップを公表する。	
各年度の目標・計画		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
・市民参加型の生き物調査の実施	・市民参加型の生き物調査の実施 ・生き物マップ及び生き物台帳の編集方法について生物多様性市民懇談会で検討	・市民参加型の生き物調査の実施 ・生き物マップ及び生き物台帳の更新 ・生き物マップの公表
各年度の実績		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
・市民参加型の生き物調査の実施 132件 ・生物多様性市民懇談会での報告(12/22)	・市民参加型の生き物調査の実施 230件 ・生物多様性市民懇談会での報告(2/14)	・市民参加型の生き物調査の実施 178件 ・生物多様性市民懇談会で意見交換(2/14) ・生き物マップ及び生き物台帳の更新 ・生き物マップの公表の準備

重点的取組	緑被率経年変化調査の実施と結果の公表	
実施する事業	○緑被率経年変化調査事業 ○緑被率経年変化調査結果の公表	
担当課	みどり公園課	
めざす目的・成果	緑の現状と緑地面積の推移を把握し、関連行政施策に反映させる。 また、調査結果や分析結果を公表する。	
事業内容	緑被率経年変化調査を実施し、結果を公表する。(5年ごと)	
各年度の目標・計画		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
—	・調査の準備	・調査の実施 ・調査結果の公表
各年度の実績		
2016年度(平成28年度)	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)
・平成15、20、25年度 に実施した緑被率調査 結果の公表を継続	・平成15、20、25年度 に実施した緑被率調査 結果の公表を継続 ・来年度の調査実施に向けた 準備	・平成15、20、25年度 に実施した緑被率調査 結果の公表を継続 ・調査の実施 ※緑被率:36.10%(-1.44%) 緑被地面積:6,619,932 m <sup>2</sup> (-279,819 m <sup>2</sup> ) ( )内は前回との比較 ・調査結果の公表の準備